

スポーツ少年団のご案内

スポーツは 一生のトモダチ

「スポーツ少年団」は、日本最大の青少年スポーツ団体です。



江畑幸子 [秋田県土崎スポーツ少年団出身]



公益財団法人 日本体育協会 日本スポーツ少年団

からだ

たくさんの
スポーツから種目を選べるのも魅力!!

日本スポーツ少年団概要

設立 昭和37年
団数 約3万3千団

団員数 約72万人
種目 60種以上

平成24年に創設50周年を迎えた日本最大の青少年スポーツ団体です。

- | | | | | |
|-------------|------------|-----------|------------|------------|
| ・軟式野球 | ・サッカー | ・複合種目 | ・バレーボール | ・バスケットボール |
| ・剣道 | ・空手道 | ・柔道 | ・ソフトボール | ・バドミントン |
| ・卓球 | ・ソフトテニス | ・少林寺拳法 | ・陸上競技 | ・野球 |
| ・水泳 | ・スキー | ・体操 | ・テニス | ・ドッジボール |
| ・ラグビーフットボール | ・合気道 | ・ハンドボール | ・スケート | ・なぎなた |
| ・レスリング | ・ホッケー | ・馬術 | ・相撲 | ・日本拳法 |
| ・トランポリン | ・アイスホッケー | ・ミニバレーボール | ・スポーツチャンバラ | ・リーダー会等 |
| ・バトントワリング | ・弓道 | ・ボウリング | ・ゴルフ | ・フットベースボール |
| ・フェンシング | ・セーリング | ・野外活動 | ・アーチェリー | ・銃剣道 |
| ・ボクシング | ・ソフトバレーボール | ・エアロビック | ・武術太極拳 | ・カヌー |
| ・ウェイトリフティング | ・太鼓 | ・綱引 | ・自転車 | ・山岳 |
| ・カーリング | ・ボート | ・ローラースケート | ・ゲートボール | ・トライアスロン |
| ・鼓笛 | ・ティーボール | ・その他 | | |

※複合種目とは数種類のスポーツを並行して行ったり、季節ごとに変えたりして活動を行う形態のことです。

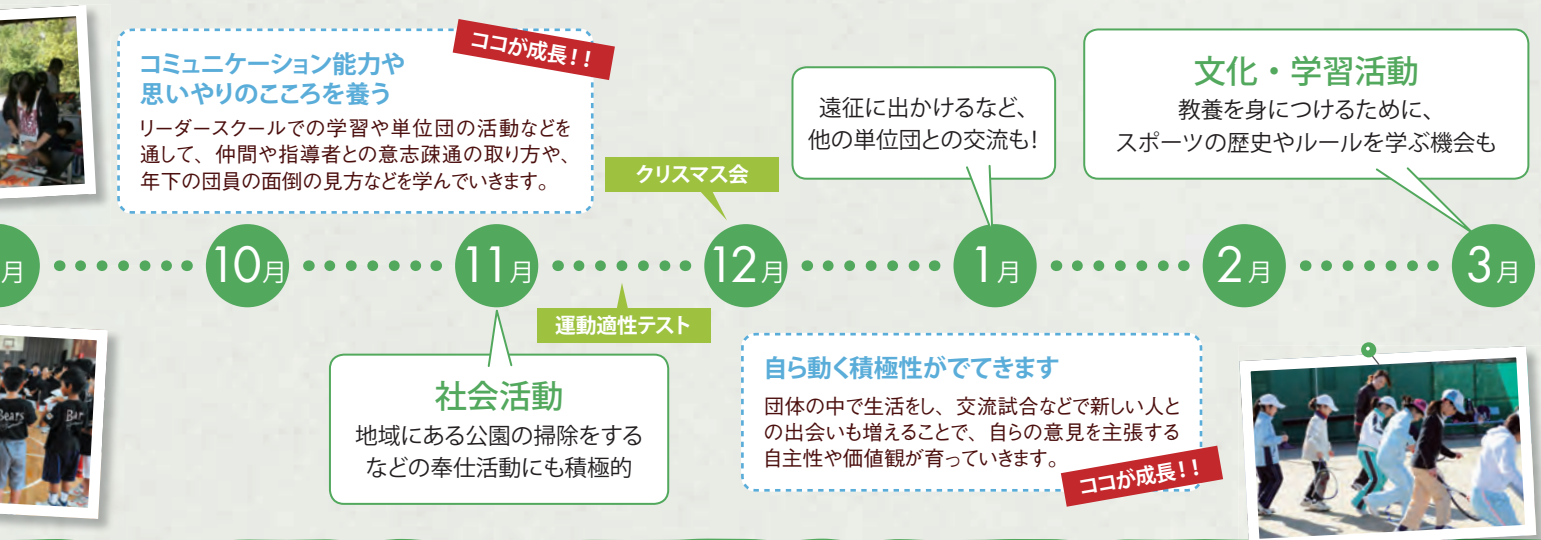


地域とのつながり

「地域のキズナ」のなかで 子どもを支援する組織です

「団行動が 成長」につながります

スポーツ少年団は、全国20万人の地域の人々の手によって支えられています。このスポーツを通じたネットワークの広がりや、地域内の交流を活発にし、よりよい地域作りにも繋がっていきます。



には競技別交流大会（サッカー）、3月には競技別交流大会（剣道、バレーボール）などが開催されます

※平成27年度現在

全国72万人の子どもたちが スポーツを通して「こころとか の成長」を体感しています

平成27年度現在スポーツ少年団は、地域の協力によって全国各地で約3万3千団が活動しています。
 その中で、子どもたちは、60種以上もあるスポーツを楽しみ、
 その活動を通して成長する過程で必要な多くのことを学び、経験しているのです。

生涯学習

「競う」だけではなく
 「楽しむスポーツ」
 が目標です

成長が著しい子ども時代には、まずからだを動かすことの楽しさや喜びを知ることが大切です。基礎的な運動能力や運動習慣を身につけ、生涯にわたってスポーツを楽しむ基盤を作りたいと願っています。



情操教育

仲間との集
 「こころの

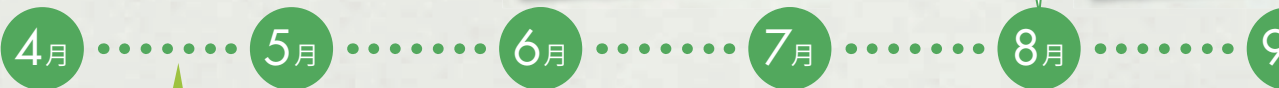
スポーツだけでなく、野外活動や社会活動、文化活動など多岐にわたる活動を通して、子どもは協調性や創造性を養い、社会のルールや思いやりのこころを学んでいきます。これらが「こころの成長」を促します。

スポーツ少年団の活動例
 競技別のスポーツ活動の他に、さまざまな活動を通して、子どもたちは多くのことを学びます

ココが成長!!
 からだを動かすことの喜びを知る
 家でゲームなどをして遊ぶことが多くなりがちの現代。スポーツ少年団に入ると友達も増えて、定期的に外で思いっきり動き回ることを楽しさを覚えます。



野外活動
 キャンプやハイキングも
 行います



4月
 運動適性テスト
習慣化する運動
 週2、3回の練習が目安です

6月
7月
8月
9月
ココが成長!!
礼儀やあいさつの仕方を学ぶ
 指導者や保護者をはじめとする大人、学年の違う友達と交わることで、目上の人を敬う態度や感謝のこころ、あいさつの大切さを学びます。



※全国的なイベントとして、8月には全国スポーツ少年大会や競技別交流大会（軟式野球、ホッケー）、シニア・リーダーズスクール、ドイツや中国の青少年との国際交流、12月に

スポーツ少年団 Q & A

Q 何歳から入れるの？

A 登録は原則として小学生以上となっています。スポーツが得意な子どもだけでなく、運動が苦手な子どもでも男女問わず大歓迎です。もちろん、中学生や高校生の登録も可能です。平成27年度現在、中学生以上の団員は約9万1千人。その中には、スポーツを楽しみながら団員のリーダーとして活動し、将来の指導者を目指す人もいます。

Q どんなところで活動しているの？

A 近くの学校のグラウンドや体育館で活動を行います。近隣の団体と合同で活動する場合は場所を変更することもあります。試合などがない限り基本的に同じ場所で行います。もし、放課後や土曜日、または日曜日にそれらの場所でスポーツをしている団体を見かけたら、それがスポーツ少年団かもしれません。

Q どんな人々が支えているの？

A 基本的に、地域の人々によって支えられています。それぞれのスポーツ少年団の組織構成としては、団員、保護者・地域住民からなる「育成母集団」、指導者、年少団員をまとめ指導者の補助的な役割もする団員（リーダー）の4つに分けられます。多くの人々が、それぞれの立場で活動の運営や支援を行っています。

Q どんな人が指導者になっているの？

A 指導者には、スポーツなどの実技を指導する人、団の運営を担当する人、地域との協力を図る人などさまざまなタイプがあります。地域に住むスポーツ指導者やスポーツ少年団出身者、団員の保護者などが指導にあたっています。それぞれの団には、日本スポーツ少年団が定める資格を有する指導者が2名以上いるので安心して活動することができます。

スポーツ少年団の活動への参加者募集 !!

地域でどのような単位スポーツ少年団が活動しているかについては、お住まいの市区町村スポーツ少年団事務局までお問い合わせいただくか、スポーツ少年団のホームページをご覧ください。

[日本スポーツ少年団ホームページ](#) →

スポーツ少年団

検索

●お問い合わせ先



公益財団法人

日本体育協会

〒150-8050

東京都渋谷区神南 1-1-1

岸記念体育会館内

TEL 03-3481-2222 (少年団課)

FAX 03-3481-2284

E-mail jjsa@japan-sports.or.jp

(平日 9:30~12:00、13:00~17:30)